

# ターゲットバードゴルフ

## <概要>

バドミントンのシャトルコック（羽根）とゴルフボールを合体させたようなシャトルボールをゴルフクラブで打って、ホールに入れるのを競います。ゴルフと同じく、ホールに入れるまでの打数が少ないほうが勝ちとなります。ルールが簡単で、しかも、羽根付きボールを使うので滞空時間が長く、直接当たってもけがをせず、初心者でもすぐにできるゲームです。地形によって起伏のあるコース、バンカーや障害物のあるコースが設定できるのも変化が楽しめ、またゴルフの練習にもなります。

## <コース>

日本ターゲット・バードゴルフ協会の公認コースで行います。

コースはゴルフのように、地形の起伏、池、林、バンカー、ウォーターハザードなどを加味して設定。公園やグラウンドでも可。普通ウェッジコースの場合はショートホール（パー2、約16m～22m）ミドルホール（パー3、約32m～45m）、ロングホール（パー4、約50m～60m）の3種類を組み合わせ、1ラウンドを18ホール、パー54を目安に設定する。ただし、スペースに応じて何ホールでもかまわない。フェアウェイの幅は3m～6mを原則とする。

## <用具>

ゴルフクラブ（ピッチングウェッジ）、シャトルボール（羽根付きボール）、スイングマット（ゴルフ用人口芝）、パラソル型ネットホール

上部・・・アドバンテージホール（直接110cm）ネット張り状

下部・・・セカンドボール直径86cmの輪 フープ（輪）

## <人数>

1組4人以内の個人戦で、何組でも出来る。

## <ゲームの進め方>

- ①打順はジャンケンなどで決め、スタートの第1打スイングマットのティーアップから始める。
- ②第2打以降、ホールから最も遠いボールの人からプレーし、等距離の場合はくじ引きなどで決める。なおこのとき、拾い上げたシャトルボールは、15cmの範囲内でホールに近寄らない方向の別の地点において打ってもよい。また羽根の向きを変えてプレーしても構わない。
- ③何回かの打撃でホールインして、そのホールのプレーは終了するが、ホールインとは、ボールの羽根部分を除く球体の部分が、ホールの内側に停止したことをいう。判定はホールの真上から見下ろして行なう。
- ④2ホール目以降のティーショットは前のホールでスコアの最も少ないプレーヤーから始める。同

じスコアの場合は、前のホールティーショットの順番に従う。

- ⑤全ホールのプレーをしていき、18ホールの合計打数の少ないプレーヤーが勝ちとなる。
- ⑥なお、ボールの識別や、他のプレーヤーの妨害とならないようにするためにボールを拾い上げる際には、マーカーを置いてから行う。動物などにボールを持ちさられたときは、そのボールにあった地点に、別のボールを置いてプレーを続行する。

## <ルール>

1. ボールを正しく打つ意思でクラブを振って、空振りした場合1ストロークと数える。ただし、クラブヘッドがボールに触れる前に何かの理由でスイングを中止したときはストロークしなかったものとする。
2. 押し出したり、かき寄せたり、すくい上げたときは、反則で、2打を付加する。
3. 1ストローク中に2日以上のボールに当たったときは合計2打として数える。
4. ボールがフェアウェイから出たときは(OB)、1打付加し、そのボールを最後にプレーした地点に出来るだけ近いOB地点からストロークする。OBのラインが石灰やロープで表示されているとき、そのライン上はOB。
5. アドバンテージホールに入った場合は打ったショット数とし、セカンドホールに入れた場合は、打ったショット数に1打を付加する。